

地域日本語教室向けの漢字学習用テキスト

『使って覚える 楽しい漢字』

が出来ました！！



(224 ページ)

著者

MIA 日本語講座「漢字教材研究会」
鈴木 英子 佐藤 紀生 秀 眞知子
後藤 すみゑ 佐藤 佳子 松田 佳代



(250 ページ)

発行

公益財団法人宮城県国際化協会(MIA)

●どんなテキスト？

この本は、MIA日本語講座で使用する初級漢字教材として、同講座の講師陣が中心となって作成したもので・・・

- ・ 日常会話はある程度できるけれども**漢字学習は後回しになってきた方**（初級後半から中級ぐらいの学習者）が主な対象です。
- ・ 取り上げている漢字は、**旧日本語能力試験3級**までに必要な基本漢字全てプラス2級の漢字（「漢字1」「漢字2」**合わせて484字**）です。
- ・ **例文が日常生活の会話ですぐに使えるものばかり**で、それらを実際の会話の中で使いながら覚えることで、効率よく漢字を学ぶことができます。
- ・ 楽しく学べるよう**多様な練習問題**が用意されています。

●どこで手に入るの？

- ・ **MIA 事務所で頒布**しています。
- ・ 「漢字1」「漢字2」どちらも**1冊500円**です。
- ・ 送付を希望される場合は、冊数分の金額相当の**定額小為替**または**普通為替**を郵便局でお求めのうえ、MIAに送ってください。**宅配便の着払い**でお送りします。

【お問合せ】

宮城県国際化協会(MIA)

〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町 4-17 宮城県仙台合同庁舎 7 階

TEL: 022-275-3796 FAX: 022-272-5063 e-mail: mail@mia-miyagi.jp

ウラも見てね→

推薦のことば

「地域日本語教育の独立記念碑」

荒川 洋平（東京外国語大学教授）

この本には、目を引くカラーページはありません。プロが描いた適切なイラストもありませんし、能力試験の対策問題も、ありません。

いかにも地味な体裁のこの本は、しかし、地域の日本語ボランティアの教え手にとっては、久しく待たれた最強の一冊です。その理由は、この本が地域の日本語の教え手によって、地域の学習者を教えた経験から、自力で生み出したものだからです。

地域の学習者とは、多少の口頭運用力を持ちながら、生活の場で目にする漢字かな混じりの文に苦勞する、多国籍の人びとです。大学や日本語学校での、話す・聞く・読む・書くの4技能をバランスよく進める学習では、この学習者たちのニーズをすくい取ることはできません。

この本はそのニーズに応えるため、商業ベースに乗ることなく、手作りで出版に至りました。特に練習問題の多彩さと精選された読解文は、ボランティアの教え手であって初めて作りうるレベルの高さです。

この2冊によって、既存の日本語教育の枠組みに依存せざるを得なかった地域の日本語教育は、独立を勝ち得たとすら言えます。つまりこの2冊は、地域日本語教育の独立記念碑というべき存在です。

